

車内改札に関する業務委員会を開催！

9月28日、「車内改札」に関する申し入れに対しての業務委員会が開催されました。要求の前進はありませんでしたが、会議の中でかわされた議論の内容を報告することとします。

安全優先を第一に考え、こだま号での改札中止を求める！

組合：こだま号での後部車掌・車掌長の自由席改札は、安全最優先を考えるなら列車看視が優先であり、車内改札は無理ではないか。

会社：列車看視が優先であり、区間にもよるが、お客様の乗り具合でも変わるが、従来と変わりはない。

組合：巡回の担当号車と巡回の回数を作業標準で定めているが、車内の状況により1両のみの巡回とかもある。それも回数に数えるのか

会社：区間や車内状況により変わってくるが、担当号車のある程度は巡回して頂くのが基本である。

組合：回数は目安と言うことでいいか。何かあれば乗務報告書に記入したらそれでいいのか。

会社：そうである。優先すべきはお客様対応であり、何かあれば乗務報告書に記入したらそれでいい。

組合：こだま号の自由席改札は無理ではないか

会社：出来る区間でやって頂ければいい。やれる範囲内でやって頂きたい考え方は従来と同じである。

組合：決められた回数を守るために無理をしていることもある。到着ぎりぎりまで巡回する車掌もいるので、柔軟な対応が必要である。

会社：列車看視が優先であることは、教育の頃から指導しているが、優先の順番が逆になりそうなら指導する。

500番台ひかり号、新大阪名古屋間の自由席改札は出来ないのが現状だ！

組合：「のぞみ」「ひかり」で車内巡回を優先するとすれば、新大阪名古屋間での自由席改札は無理がある。特に車掌長の自由席改札2回は難しいと思うが把握しているのか。

会社：列車看視に間に合わないような自由席改札はない。車内の状況や列車特性によって判断して頂くことが大事である。

組合：作業標準で定められた巡回や改札には無理がある。見直すことはしないのか。

会社：今のところ、改札を見直すことは聞いていない。

組合：車内巡回チェックシートは乗務中に書いていかないと乗務後では書けない。会社はその認識はあるのか。その上で巡回や改札をやることが求められている。完璧を目指す車掌もいるが、柔軟な対応が必要である。

会社：完璧に出来る車掌もいるが、お客様の目線でサービスを限られたところでやって頂きたい。

働きやすい職場づくりのためにも、今後も引き続き職場の問題点の解決に向けて取り組んでいくこととします。